



TITLE:

3.研究教育活動, 3.5.学位取得者と論文題目

AUTHOR(S):

CITATION:

3.研究教育活動, 3.5.学位取得者と論文題目. 霊長類研究所年報 2020, 50: 83-83

ISSUE DATE:

2020-10-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/254649>

RIGHT:

共同研究協定

日本	財団法人名古屋みなと振興財団 (名古屋港水族館)		2009.7.3	—
マレーシア	オランウータン島財団	Orang Utan Foundation	2010.11.1	—
マレーシア	ブラウバンディング財団	Pulau Banding Foundation	2010.11.1	—
日本	西海国立公園九十九島水族館 「海きらら」		2012.6.16	—
日本	日本モンキーセンター		2014.10.15	—
日本	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構生理学研究所		2014.1.22	5 年間 (自動継続)
日本	新潟大学脳研究所		2015.8.1	5 年間 (自動継続)
日本	中部大学創発学術院		2016.9.2	5 年間 (自動継続)
日本	公益財団法人鹿児島市水族館公社 (かごしま水族館)		2016.11.1	5 年間 (自動継続)

3.5 学位取得者と論文題目

京都大学博士（理学）

Duncan Andrew Wilson (課程) : Exploring attentional bias towards threatening faces in chimpanzees

(チンパンジーにおける恐怖顔に対する注意バイアスに関する研究)

若森参 (課程) : Evolution of the tail in the genus *Macaca* (マカク属における尾の進化)

田辺創思 (課程) : Developing novel techniques for primate neural network analyses by retrograde gene transfer with viral vectors (ウイルスベクターによる逆行性遺伝子導入を利用した霊長類の神経ネットワーク解析のための新規技術開発)

金侑璃(課程) : 多感覚統合による物体の質感知覚の脳内メカニズム

石塚真太郎(課程) : Kin structure of neighboring groups in the genus *Pan*
(*Pan* 属における隣接複数集団の血縁構造)

京都大学修士（理学）

Louie Richard Ueno-NIGH : パーキンソン病モデルマウスの行動分析のための自動解析システムの開発

Tianmeng HE : 食物の堅さがニホンザルの咀嚼効率に与える影響

Andi ZHENG : 霊長類におけるニューロン種特異的な遺伝子発現操作法の開発

井藤晴香 : iPS 細胞分化誘導系を用いたニホンザル初期神経発生の分子動態研究

Oh Jungmin : 霊長類側坐核ニューロンは接近回避葛藤下において意欲と価値を区別してコードする

木下勇貴 : 霊長類における体幹回旋運動と胸腰椎の機能形態学

徐沈文 : チンパンジーにおける写真映像と指示対象の対応づけ

TAN WEI KEAT : 霊長類レトロウイルスの持続感染に関する研究

3.6 外国人研究員

B Kubenova (チェコ 南ボヘミア大学)

(2017.11.1～2019.10.31)

受入教員 : MacIntosh Andrew

研究題目 : ニホンザルにおける乳幼児 handling および乳幼児とワカモノの社会関係の形成